

# 美唄市公共施設白書 概要版

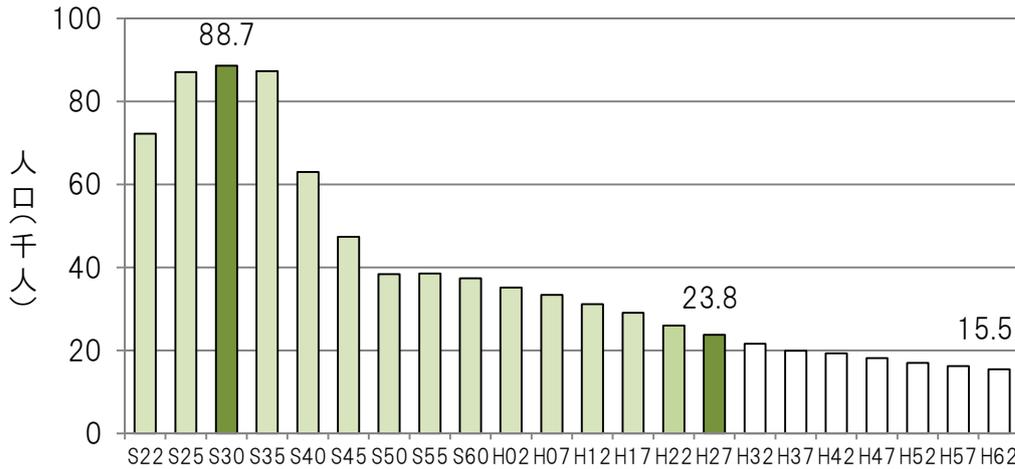
平成28年3月

美唄市

# 1. 人口について

## 1-1. 人口の推移

◇美唄市の人口は昭和30年の88,667人を境として減少に転じ、平成27年3月末時点で23,783人です。美唄市人口ビジョンによると、平成62年には今より約4割減少し、約15,500人になると予想されます。

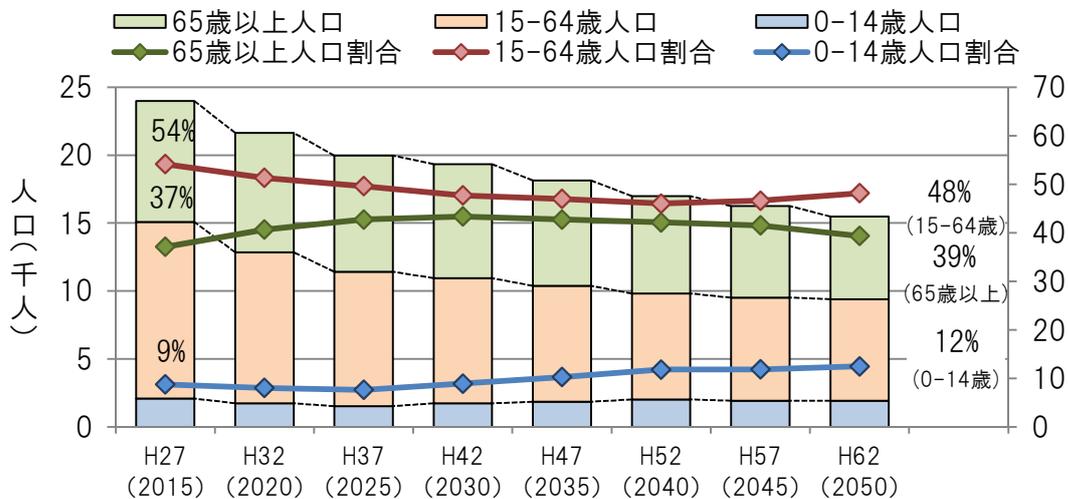


- 人口の推移 -

※平成32年以降は、美唄市人口ビジョンによる

## 1-2. 年代別人口の推移

◇今後35年間で生産年齢人口(15~64歳)は減少し、年少人口(0~14歳)は横ばいです。一方で高齢者人口(65歳以上)の割合が若干増加し、更なる少子高齢化の進行が懸念されます。



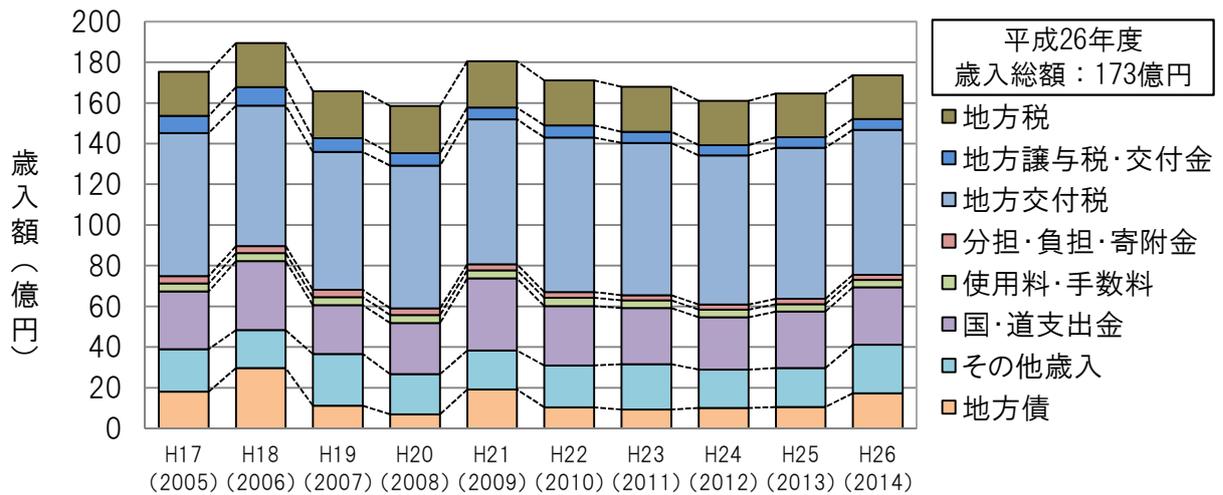
- 年代別人口と人口割合の推移 -

※平成32年以降は、美唄市人口ビジョンによる

## 2. 財政について

### 2-1. 歳入の推移

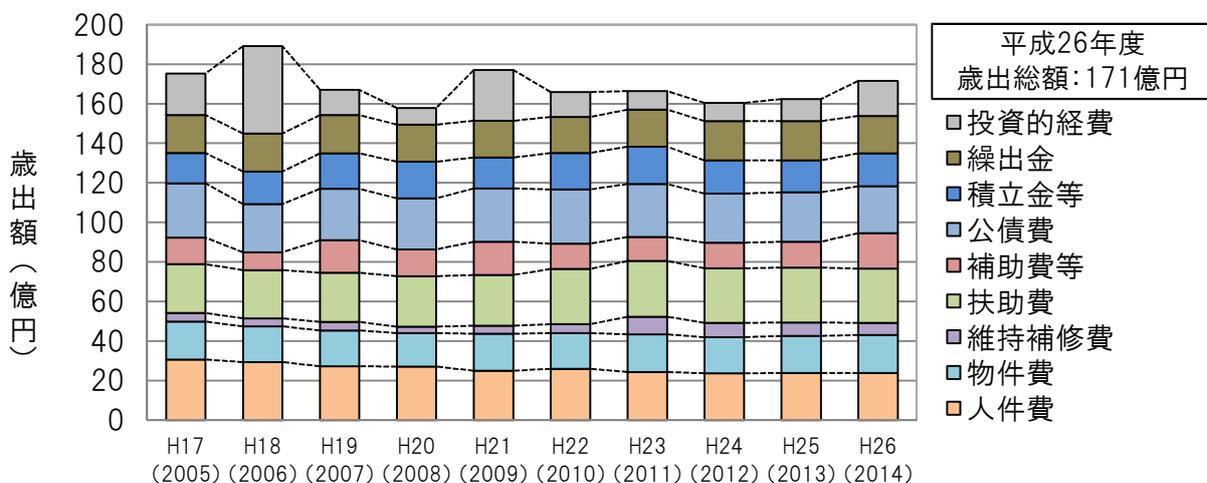
◇平成26年度の歳入総額は約173億円です。今後も総人口や生産年齢人口(15～64歳)の減少に伴い、地方税などの税収が減少することが予想されます。



- 過去10年間の歳入の推移 -

### 2-2. 歳出の推移

◇平成26年度の歳出総額は約171億円です。過去10年間の推移をみると、人件費は減少していますが、医療費や介護費等の扶助費や維持管理費については増加傾向にあります。

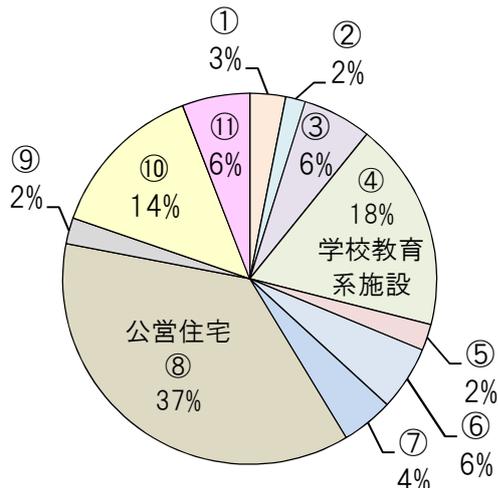


- 過去10年間の歳出の推移 -

### 3. 公共施設等の現状について

#### 3-1. 公共施設の保有状況

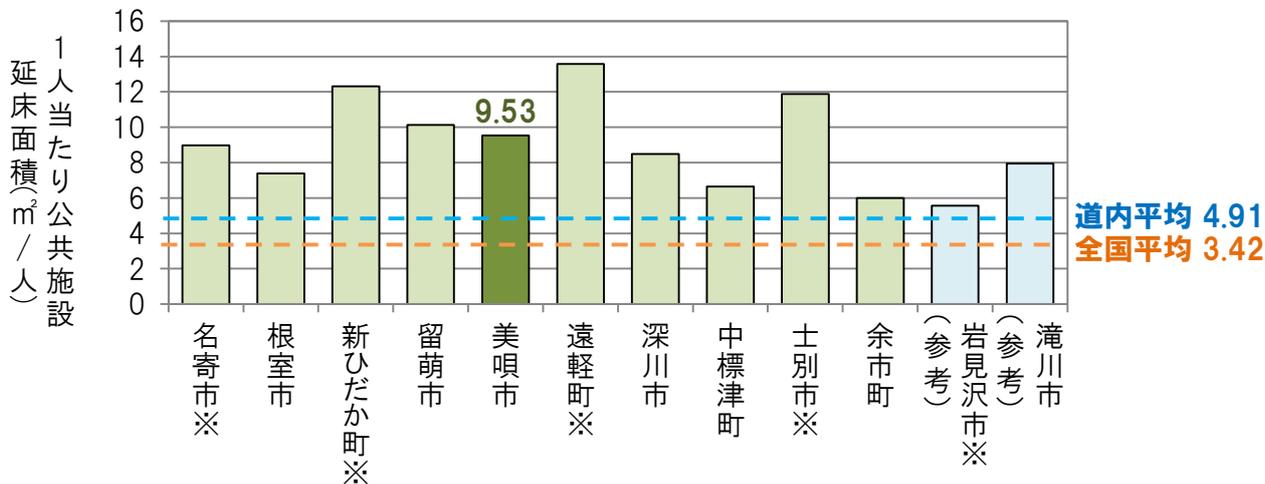
- ◇美唄市が保有する公共施設の建物棟数は265棟、延床面積は約23万㎡です。  
延床面積において最も割合が多い施設は、公営住宅であり全体の約4割を占めます。
- ◇住民1人当たりの公共施設の延床面積は9.53㎡/人であり、全国平均の約3倍です。



- 用途分類毎の延床面積の割合 -

- 建物棟数と延床面積状況 -

No.	大分類	建物棟数 (棟)	延床面積 (㎡)	割合 (%)
①	市民文化系施設	11	7,025	3
②	社会教育系施設	8	3,902	2
③	スポーツ・観光系施設	13	13,576	6
④	学校教育系施設	24	41,354	18
⑤	子育て支援施設	12	5,241	2
⑥	保健・福祉施設	22	12,730	6
⑦	行政系施設	11	10,228	4
⑧	公営住宅	93	83,347	37
⑨	供給処理施設	6	5,145	2
⑩	その他	52	30,728	14
⑪	医療施設	13	13,297	6
	総計	265	226,576	100



- 道内の人口2万人～3万人規模の市町村の1人当たりの公共施設延床面積の比較 -

出典「全国自治体公共施設延床面積データ」東洋大学PPP研究センターより作成  
※平成の大合併により複数の市町村が合併した市町

◆公共施設等のデータは、原則として平成27年(2015年3月31日時点)の資料に基づいています。

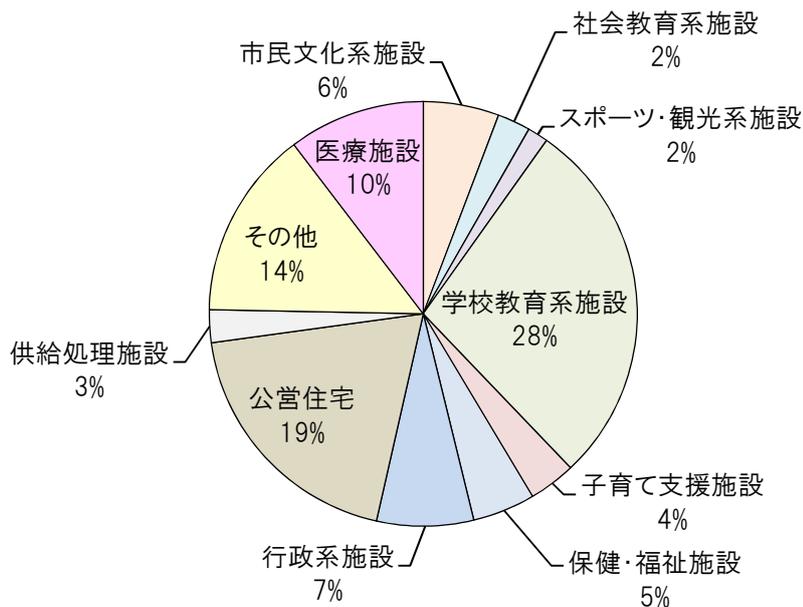
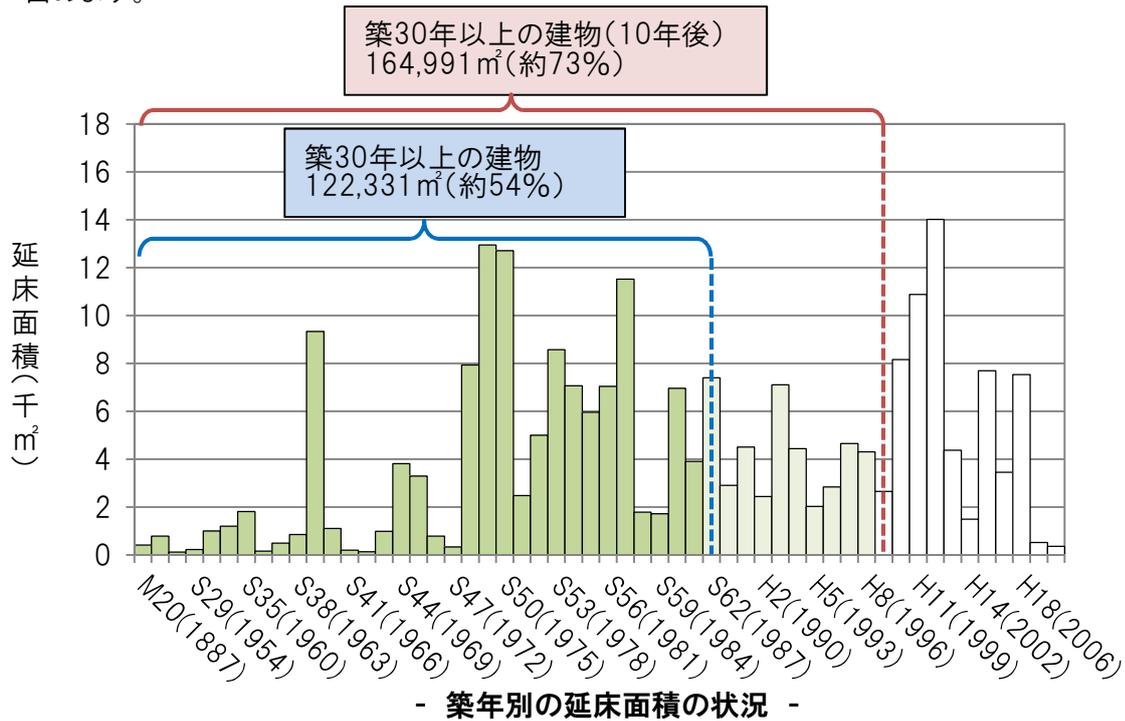
#### 3-2. インフラの保有状況

- ◇美唄市が保有するインフラは、一般道路実延長が499,063m、橋りょう実延長が4,333mです。  
上下水道は、上水道管延長が3,278,465m、下水道管延長が231,891mとなっています。

◆公共施設等のデータは、原則として平成27年(2015年3月31日時点)の資料に基づいています。

### 3-3. 公共施設の老朽化について

- ◇公共施設は、築年数が30年を経過している施設が約5割あり、10年後には約7割となるため老朽化の進行による安全性の低下が懸念されます。
- ◇築年数30年以上の建物における用途別延床面積の割合は、学校教育施設が約3割、公営住宅が約2割を占めます。

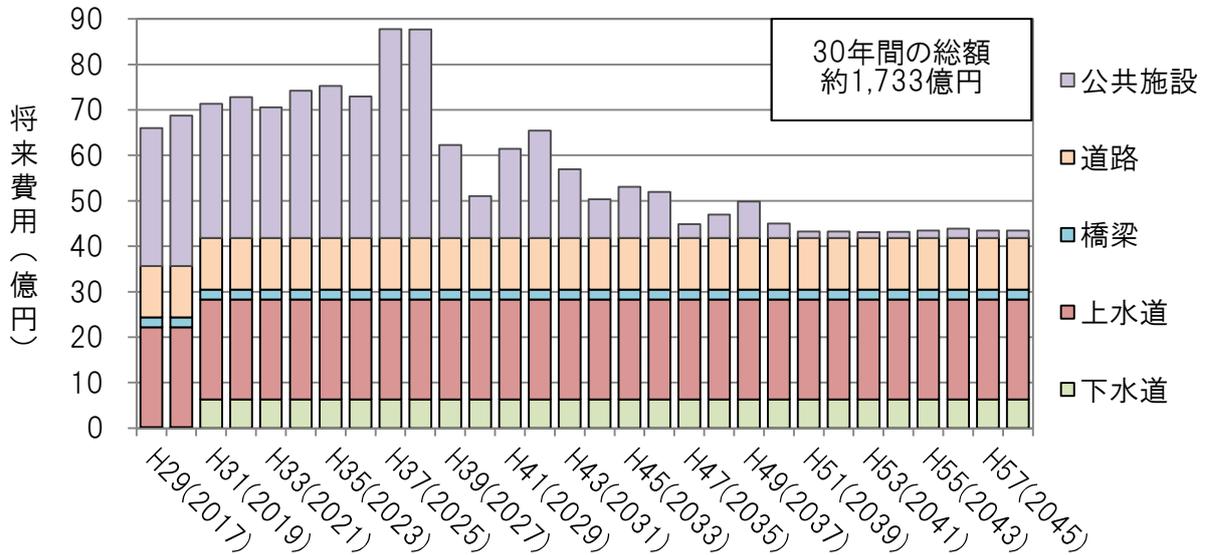


◆公共施設等のデータは、原則として平成27年(2015年3月31日時点)の資料に基づいています。

## 4. 将来費用について

### 4-1. 将来費用の推計

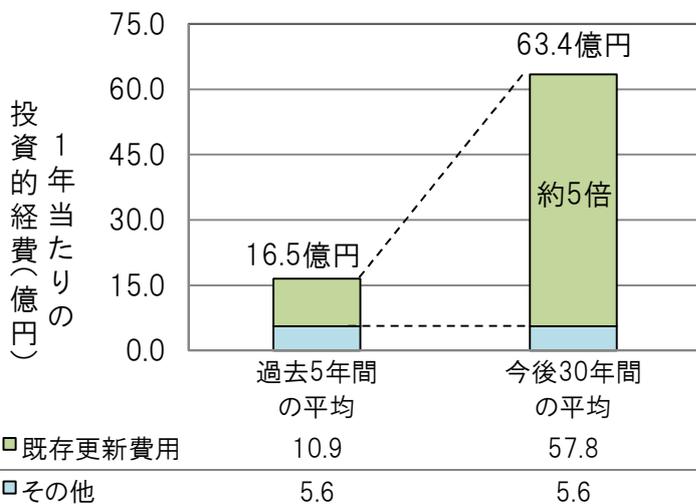
◇公共施設とインフラに要する将来費用の総計は、今後30年間で約1,733億円と試算されます。



- 公共施設等の将来費用推計 -

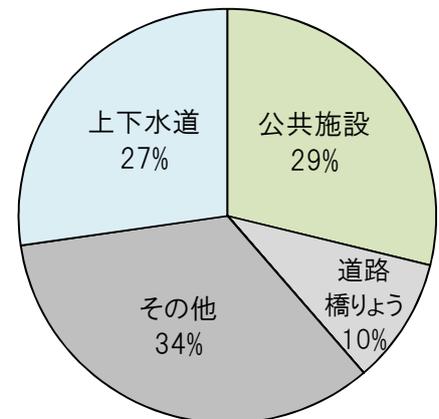
### 4-2. 今後の投資的経費について

◇今後30年間の1年当りに要する投資的経費<sup>※1</sup>は、既存更新費用のみで約58億円となり、過去5年間<sup>※2</sup>で支出してきた投資的経費の平均に対して約5倍になります。



- 投資的経費の現状と今後の比較 -

※1 道路や公共施設の建設や用地購入など社会資本の形成に資する経費



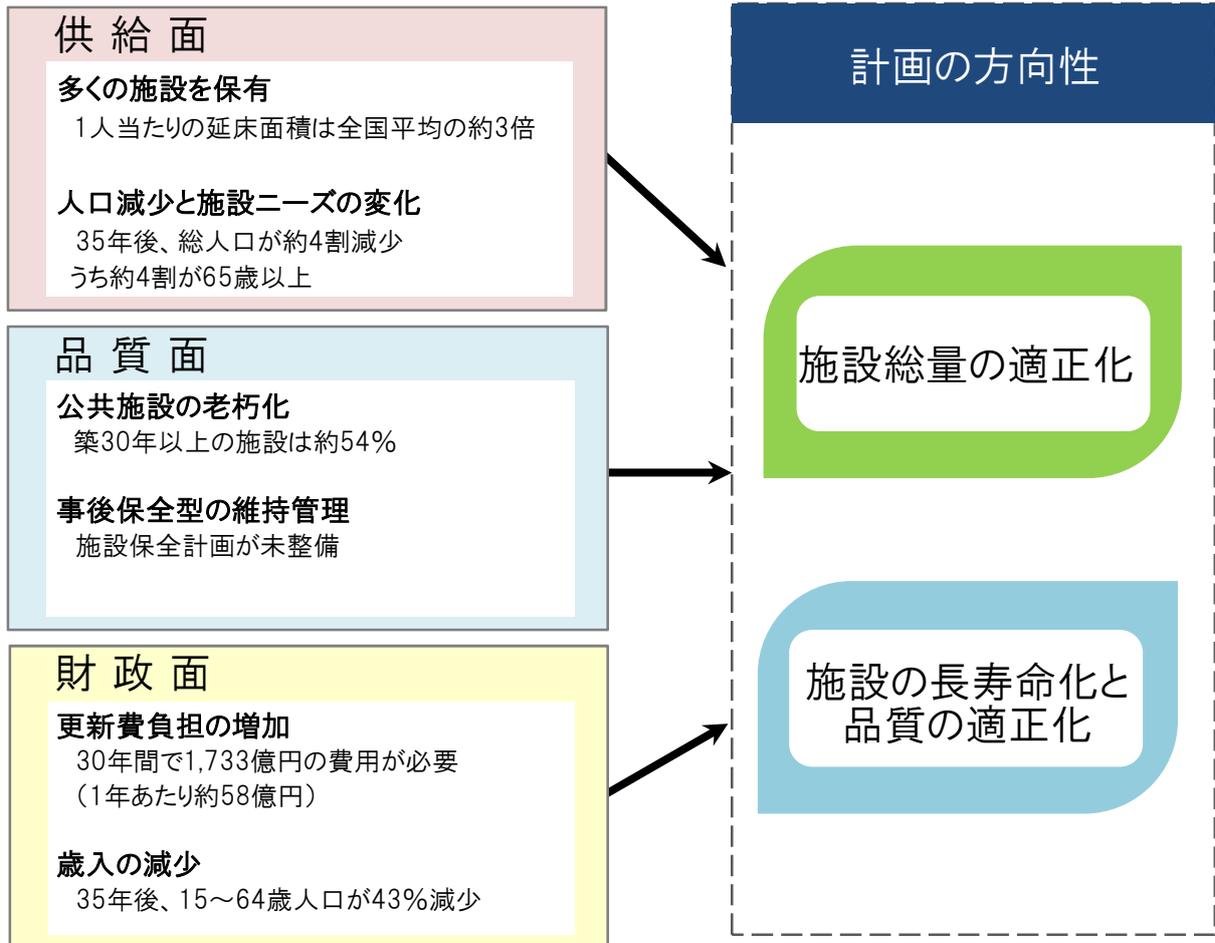
- 投資的経費の割合（過去5年間） -

※2 平成22年度～平成26年度を対象とする

## 5. 課題と解決に向けた取り組みについて

### 5-1. 課題と総合管理計画の必要性について

◇美唄市の公共施設等は供給面、財政面、品質面からみても多くの課題を抱える状況にあります。  
課題解決に向けて、ファシリティマネジメント<sup>※3</sup>の観点から「施設総量の適正化」、ならびに「施設の長寿命化と品質の適正化」を進めていく必要があります。

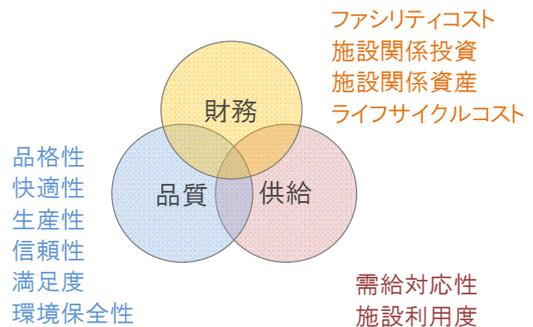


- 美唄市が抱える課題と公共施設等総合管理計画の必要性 -

#### ※3 ファシリティマネジメントとは

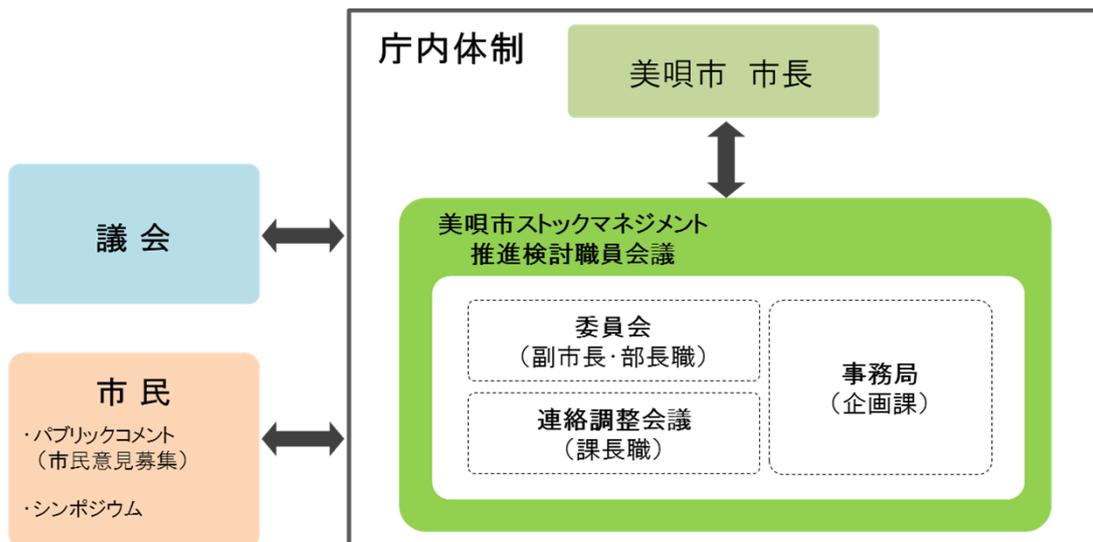
ファシリティマネジメント(FM)は、企業、団体等が、組織活動のために保有する施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動です。

右図の財務・品質・供給の3つの視点から現状評価により、定量的な目標を定め、達成状況を管理しながら企画、管理、活用のサイクルを回して目標実現のために継続的な改善を行っていきます。

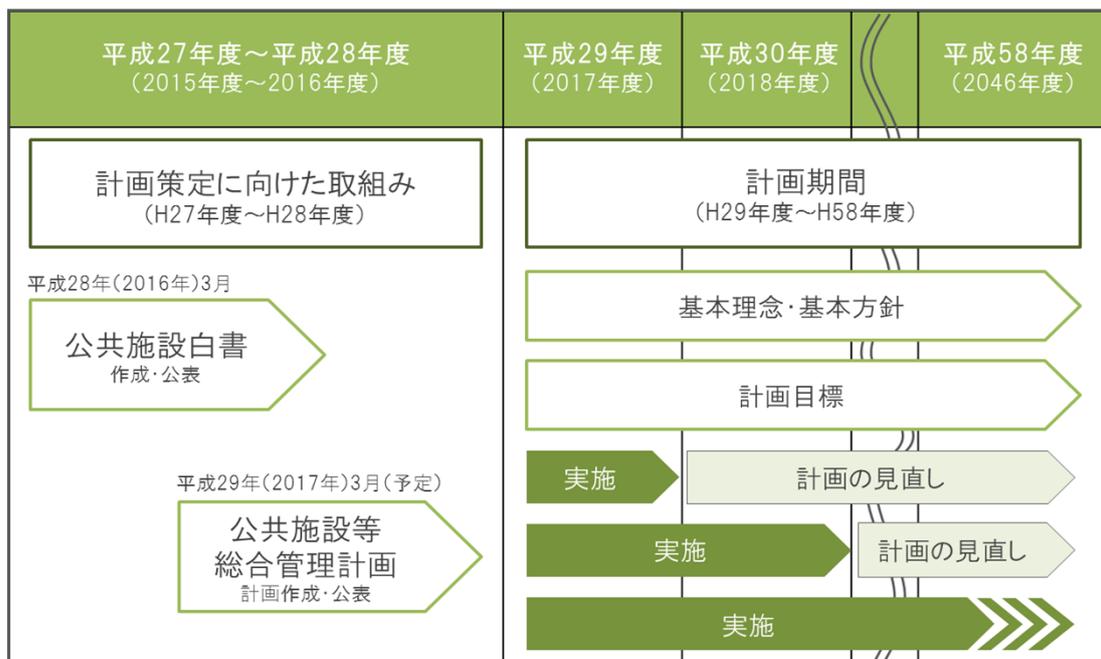


## 5-2. 課題解決に向けた取り組みについて

◇美唄市では、これらの課題解決に向けた検討を進めていくために、全庁的な取組体制を構築し、今後30年間(H29～H58年度)を計画期間として「美唄市公共施設等総合管理計画」の策定をします。



- 全庁的な取組体制と情報共有方策 -



- 計画策定に向けた取組みスケジュール -

美唄市公共施設白書  
- 概要版 -

発行 平成28年3月  
編集 美唄市総務部企画課  
〒072-8660 美唄市西3条南1丁目1番1号  
TEL:0126-62-3131 FAX:0126-62-1088